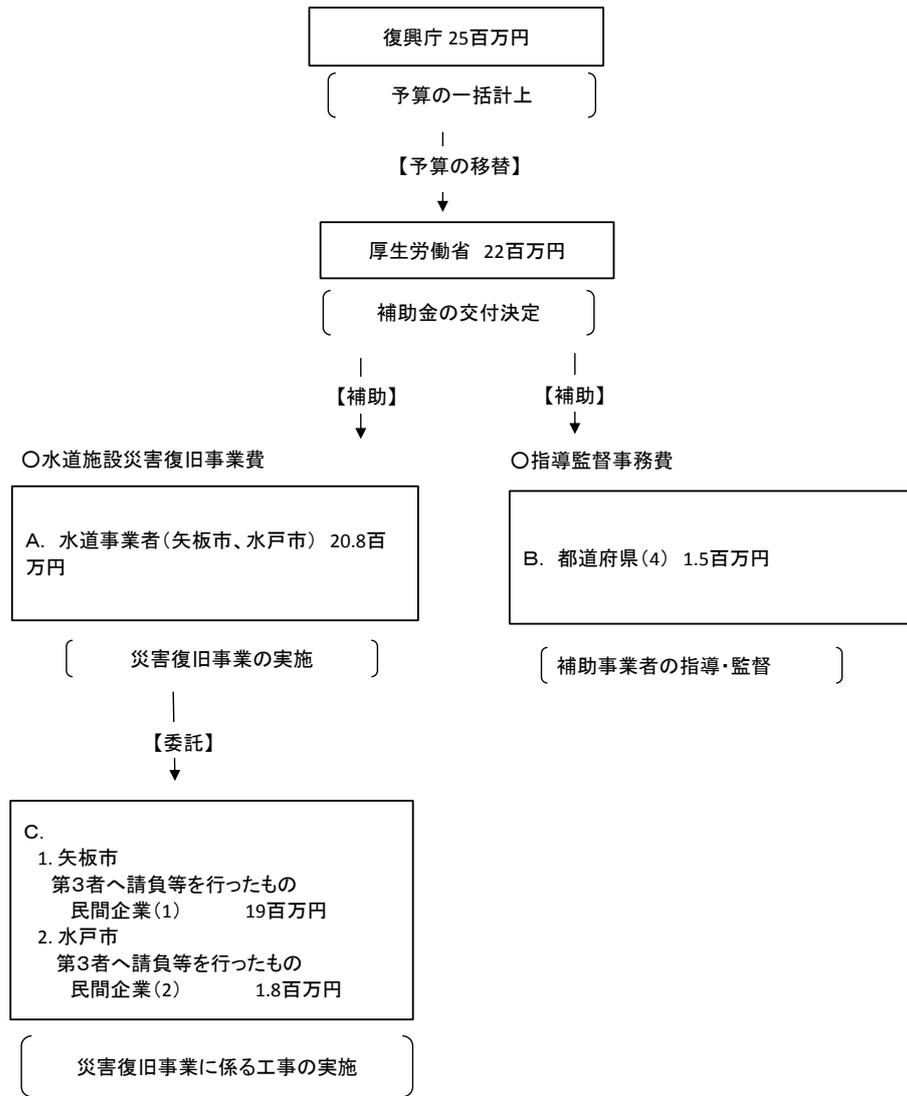


平成25年行政事業レビューシート							(復興庁)	
事業名	水道施設災害復旧費補助(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～未定		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第3条第1項第1号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道施設は、国民の日常生活や地域産業活動に欠くことのできない施設であり、東日本大震災により甚大な被害を受けた水道施設については一刻も早く復旧を行う必要があり、早期に復旧することで安全で質が高く災害に強い水道を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東日本大震災により著しい被害を受けた水道施設について、地方公共団体が経営する水道事業、水道用水供給事業等が施行する災害復旧事業の事業費の一部補助に必要な経費。 ① 東日本大震災により被害を受けた水道施設及び飲料水供給施設を原形に復旧する事業《補助率:80/100～90/100(特別立法による嵩上げ。通常は1/2)》 ② ①と水圧管理上一体的な関係にある給水の施設を原形に復旧する事業《補助率:1/2(通常は補助対象外)》 ③ ①の管路の漏水調査で請負に係るもの《補助率:1/2(通常は補助対象外)》							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度		23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	括弧内は厚生労働省が計上した同様の事業の予算額を参考記載しているもの		20,000	8,500	22,115	
		補正予算			46,300			
		繰越し等			△ 38,315	(35,922)△19,975	(2,393)19,975	
		計			7,985	25	8,500	22,115
執行額			7,853	22				
執行率(%)			98.3%	88.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (30年度)
	断水復旧戸数 (4.5万戸は津波被害や土砂災害により家屋等が流出、復旧が困難な地域)			成果実績	戸	-	252.2万	252.2万
			達成度	%	-	98%	98%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	災害査定実施件数			活動実績 (当初見込み)	件	-	241	59
					-	(,224)	(,64)	(, 5)
単位当たりコスト	53(百万円/事業数)			算出根拠	執行額の累計を災害査定実施件数で除して算出			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	水道施設災害復旧事業費補助	8,500	22,115	自治体からの要望を踏まえた増				
	計	8,500	22,115					

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	安全で質の高い水道を確保するため、早期に被災した水道施設を復旧することは広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	東日本大震災により甚大な被害を受けた水道施設については一刻も早く復旧を行う必要があり、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	安全で質の高い水道を確保するため、早期に被災した水道施設を復旧することは優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	水道施設災害復旧事業に係る施設整備については、補助金交付要綱に照らして採択を行っているところであり、競争性は確保されておりその支出先の選定も妥当である。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	本事業を実施することで安全で質の高い災害に強い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業実績報告等において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	復興計画策定の遅れにより災害復旧が当初の見込みどおり進まなかったこと等のため	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	成果実績及び活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	×	復興計画策定の遅れにより災害復旧が当初の見込みどおり進まなかったこと等のため	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果実績及び活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	水道施設災害復旧費補助について、平成24年度は活動実績が復興計画策定の遅れにより当初の見込みどおり進まなかったところであるが、今後、他の事業進捗状況により水道施設の復旧も進むことが想定されること、またその際には早期に対応することが必要であることから、今後も事業を継続していくことが妥当である。			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
現状通り	被災した水道施設の復旧のため、復興に資する必要性の高い事業であり、引き続き適切な予算執行を進めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	引き続き適切な予算執行に努めていく。			
備考				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年	平成24年	43

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.矢板市			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	平成23年3月11日東日本大震災に係る 工事委託(配水池の解体工事)	19			
計		19	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.(株)浜屋組			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	平成23年3月11日東日本大震災に係る 工事(配水池の解体工事)	19			
計		19	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	矢板市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事(配水池の解体工事)	19		
2	水戸市	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事(配水本管の復旧工事)	1.8		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福島県	水道施設整備の災害復旧に係る指導監督事務の実施	0.7		
2	岩手県	水道施設整備の災害復旧に係る指導監督事務の実施	0.6		
3	宮城県	水道施設整備の災害復旧に係る指導監督事務の実施	0.2		
4	千葉県	水道施設整備の災害復旧に係る指導監督事務の実施	0.04		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)浜屋組	平成23年3月11日東日本大震災に係る工事(配水池の解体工事)	19		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					